

2026年(令和8年)3月期 決算説明資料

ASEEDING THE FUTURE

人、地球、未来—すべての笑顔と健康のために

ASEED アシードホールディングス株式会社

【証券コード:9959】

1. 2026年3月期 決算概況
 2. セグメント別概況
 3. 2027年3月期 業績予想
 4. 配当予想
 5. トピックス
- APPENDIX.当社グループ概要

1. 2026年3月期 決算概況

- 飲料メーカーによる自販機事業における減損処理等ネガティブな情報が多い中、自販機オペレーター業界においては、物価高による自販機離れの加速により業界再編の機運が高まる。
- 低アルコール飲料市場についてはコロナ渦に拡大した家飲みが一服し、商品の乱立により競争が激化している。
- 世界的な抹茶ブームが継続しており、価格に過熱感がみられるものの需要は引き続き堅調に推移した。

	2025年3月期	2026年3月期	増減率
売上高	23,969百万円	25,409百万円 (1,440百万円増)	6.0%
営業利益	765百万円	1,071百万円 (305百万円増)	40.0%
経常利益	1,093百万円	1,418百万円 (324百万円増)	29.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	748百万円	909百万円 (161百万円増)	21.5%

- ・ 主力事業は共に増収増益。自販機運営リテイル事業は利益率の改善が奏功、飲料製造事業は茶葉加工が堅調に推移するとともに、酒類・清涼飲料の製造も数量が徐々に回復し前年の利益を上回る。
- ・ アシードブリュー(株)東広島飲料工場のPET飲料製造ラインについて2027年2月に廃止することを決定。2026年3月末の機械装置の残存簿価145百万円を減損処理。
- ・ 河村農園(株)の取得時に計上したのれんの一部を減損処理。

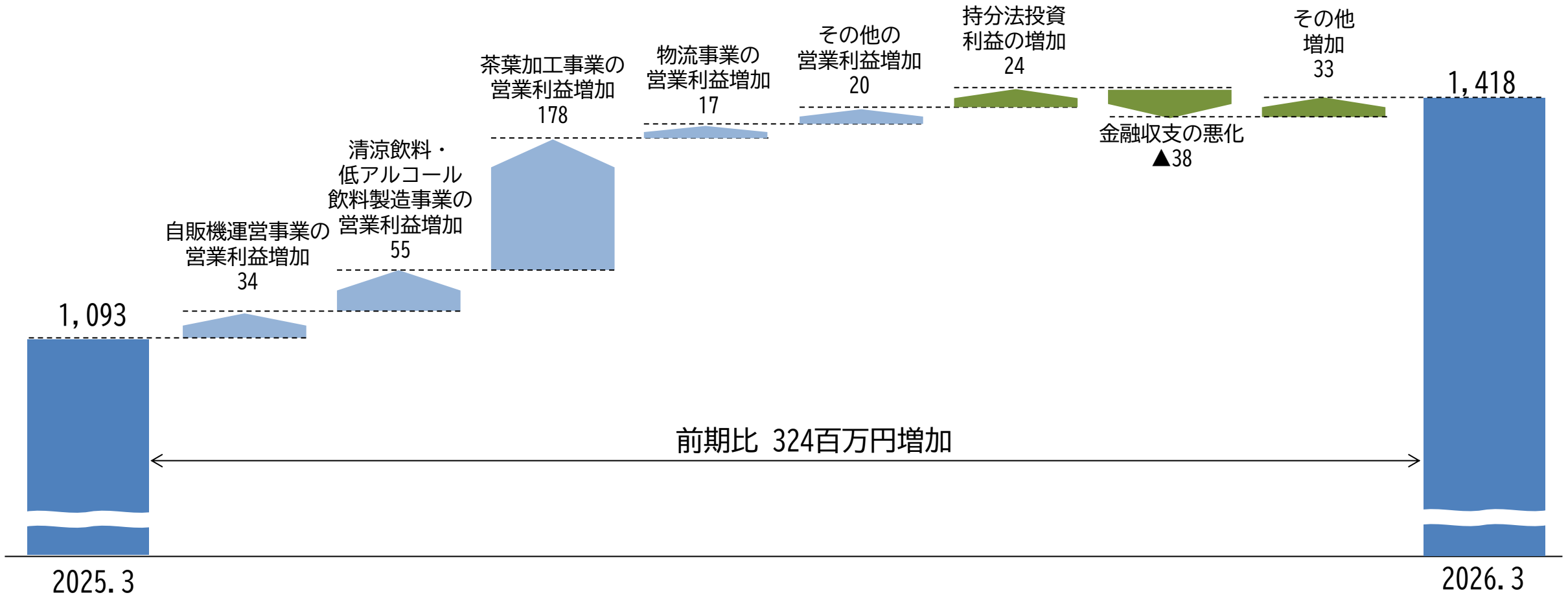
2026年3月期 連結貸借対照表

科 目	2025年3月期	2026年3月期	増減	科 目	2025年3月期	2026年3月期	増減
資産の部				負債の部			
流動資産	7,505	10,139	2,634	流動負債	8,575	10,483	1,908
固定資産	12,149	14,006	1,856	固定負債	3,856	5,725	1,868
有形固定資産	9,626	10,704	1,077	負債合計	12,431	16,208	3,776
無形固定資産	223	148	△75	純資産の部			
投資その他の資産	2,299	3,153	853	株主資本	7,267	7,960	693
				その他の包括利益累計額	△44	△24	20
				純資産合計	7,223	7,936	713
資産合計	19,655	24,145	4,490	負債純資産合計	19,655	24,145	4,490

- ・ アシードブリュー(株)東広島飲料工場における工場建物及びソフトパウチ飲料製造ラインの新設や、静岡ローストシステム(株)の倉庫や設備投資などの取得による固定資産の増加及び借入金の増加
- ・ VIHAMARK GROUP JOINT STOCK COMPANY(ベトナム)を持分法適用関連会社化し、投資有価証券が増加
- ・ 設備投資資金の先行借入のため、流動負債が増加

2026年3月期 経常利益増減要因

営業利益 営業外損益 (単位：百万円)



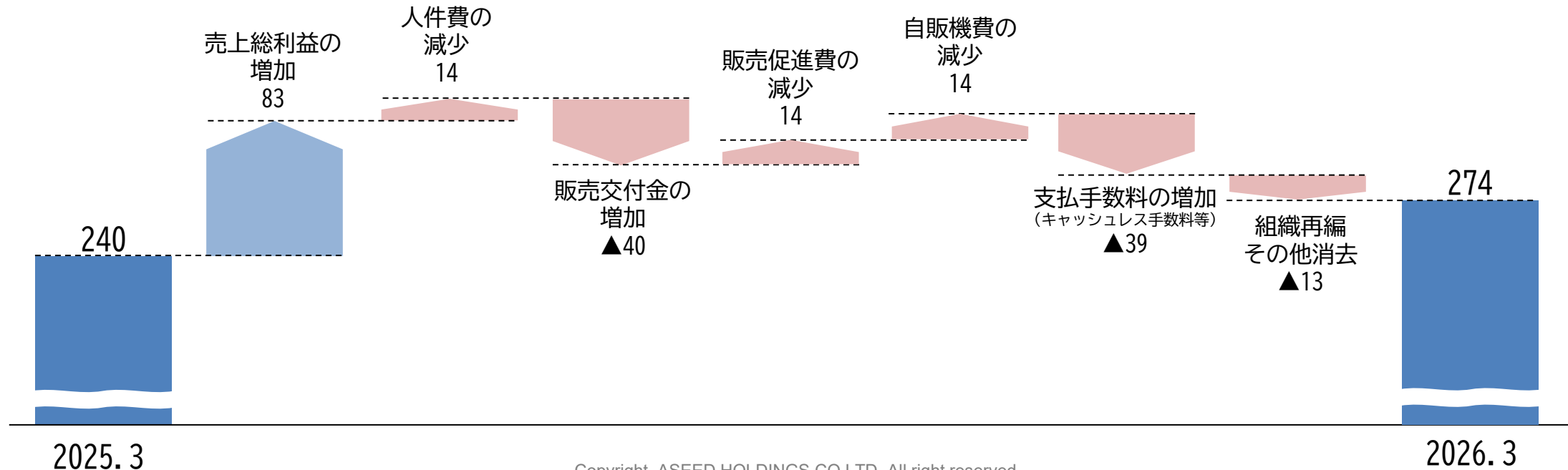
2. セグメント別概況

	売上高		営業利益	
	2025年3月期	2026年3月期	2025年3月期	2026年3月期
自販機運営リテイル事業	13,614百万円	13,892百万円	240百万円	274百万円

- ・飲料メーカー商品の相次ぐ値上げや消費者の節約志向により自販機離れによる販売数の減少が加速
- ・設置条件の改善や不採算機の引揚など利益率の改善に向けて取り組みを続ける
- ・業界再編の受け皿となるべく収益基盤の確立に注力

● 営業利益増減要因

■ 売上総利益 ■ 販売管理費 (単位：百万円)

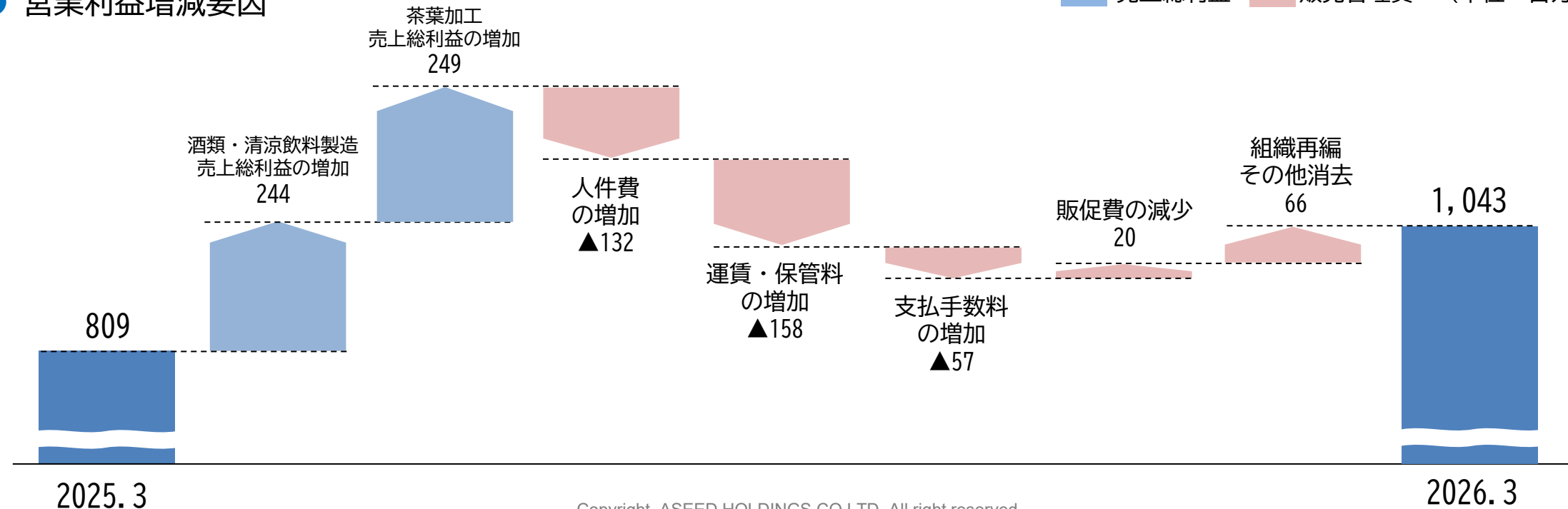


	売上高		営業利益	
	2025年3月期	2026年3月期	2025年3月期	2026年3月期
飲料製造事業	9,961百万円	11,086百万円	809百万円	1,043百万円

- ・世界的な抹茶ブームの恩恵を受け、静岡ローストシステム(株)の茶葉加工が堅調に推移
- ・酒類・清涼飲料の製造においては、製造数量が徐々に増加、前年の利益を上回る水準まで回復
- ・自社ブランド商品の拡販を中長期の最重要事項に位置づけ、新商品の投入やマーケティング・販売戦略を強化

● 営業利益増減要因

■ 売上総利益 ■ 販売管理費 (単位：百万円)



	売上高		営業利益	
	2025年3月期	2026年3月期	2025年3月期	2026年3月期
不動産運用事業	140百万円	142百万円	218百万円	220百万円
<ul style="list-style-type: none"> ・当社およびアオンスエステート(株)を中心に所有不動産の運用 ・セグメント間の内部売上高を含めると売上高は390百万円 				
その他事業	252百万円	288百万円	35百万円	52百万円
<ul style="list-style-type: none"> ・東西の物流部門を強化するとともに、グループ内物流の内製化を進める ・ロジックイノベーション(株)の環境事業を2025年12月に終了し、物流効率化に経営資源を集中 				

3. 2026年3月期 業績予想

	2026年3月期 実績	2027年3月期 業績予想	増減率
売上高	25,409百万円	27,000百万円 (1,590百万円増)	6.3%
営業利益	1,071百万円	1,150百万円 (78百万円増)	7.3%
経常利益	1,418百万円	1,500百万円 (81百万円増)	5.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	909百万円	1,000百万円 (90百万円増)	9.9%

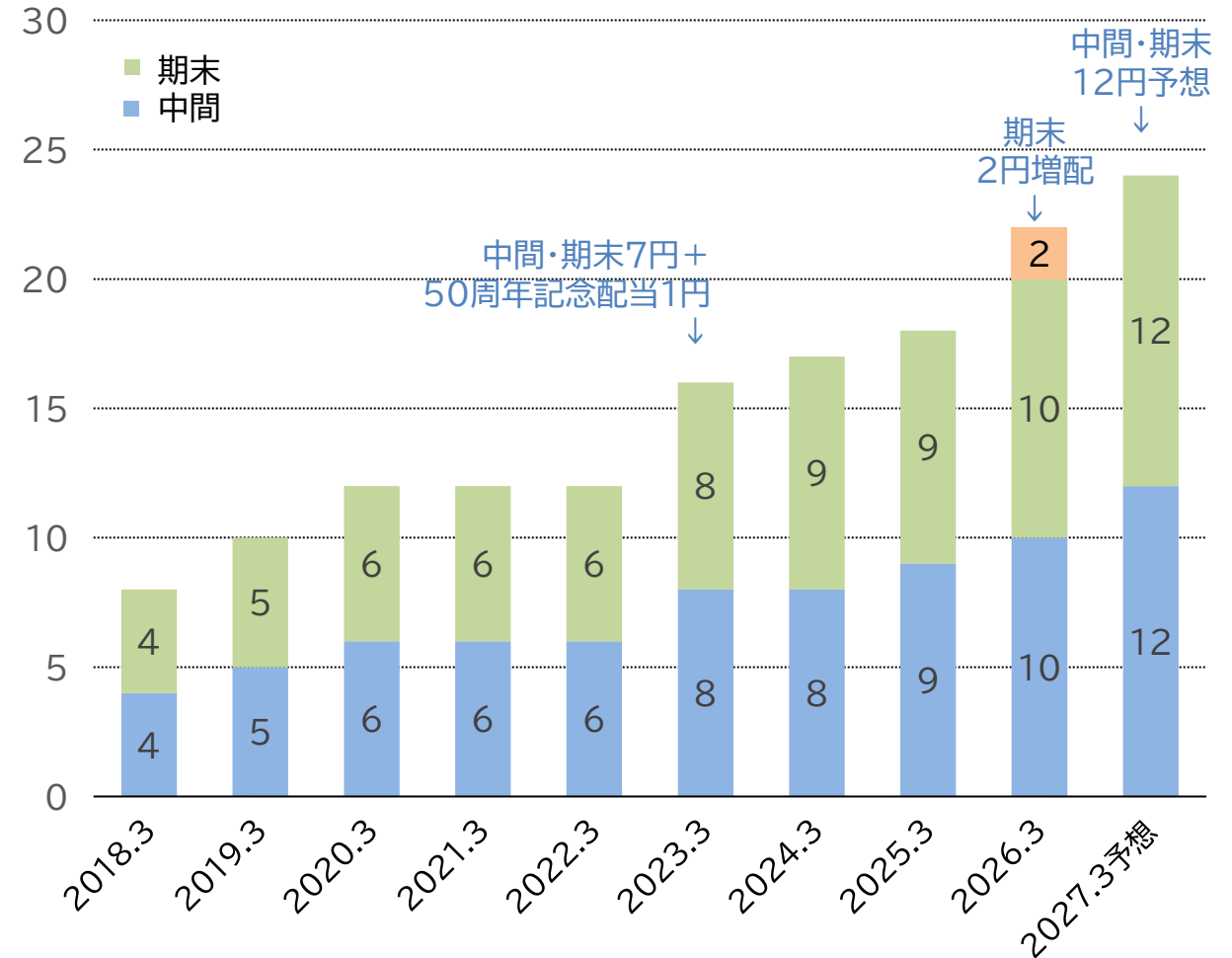
- ・ 自販機運営リテイル事業については、自販機ごとの採算管理を厳格化し増益を見込む。期初に(有)日東ベンディング中国の株式を取得、早期の収益化に取り組むが今期の業績への影響は軽微。
- ・ 飲料製造事業においては、製造加工数量増加基調の維持を目指す。イラン情勢の影響により、燃料費の高騰や原材料の更なる値上がりを想定するが、紛争の長期化による業績への影響は織り込まず。
- ・ 第4四半期にパウチ飲料製造工場の工事が完了する。製造ライン立ち上げ時の試験運転により費用が先行し、期間収益を圧迫することを想定。来期（2028年3月期）より本格稼働を予定。
- ・ 茶葉加工事業については引き続き高水準の受注を見込むものの、原料である茶葉の供給がひっ迫することが想定され、加工数量の増加については慎重な見立て。
- ・ 自社ブランド商品については、ブランド価値の創造に取り組むとともに、新商品を立て続けに発売し商品の拡充を目指す。プロモーション活動などへの投資を拡大する。
- ・ 金利上昇による営業外費用の増加を見込む。

4. 配当予想

- ①2026年3月期 期末配当金は2円増配し12円
- ②今期は1株当たり年24円普通配当を予想
(配当利回り 2.92% 株価820円の場合)
- ③内部留保はM&A、海外投資、飲料設備等に
優先的に充当
- ④配当性向30%程度を基準に累進配当を継続
1993年の株式公開以降 減配することなく
配当を継続して実施

	2025.3	2026.3	2027.3 予想
1株当たり 配当金	18円	22円	24円
配当性向	29.7%	29.8%	29.6%

●配当金の推移(単位：円)



5. トピックス

● 「アスター 広島はっさく」「家バル ソルティドック」

ストレート果汁使用の低アルコール飲料



新商品



新商品

2026年3月発売

● 「からだに果実茶」

グアバ茶やグリーンルイボスティーといった健康茶をベースに、果実の香りと甘さを重ねたフレーバーティー



新商品



新商品

2026年3月発売

● 「とろぷる寒天ゼリー」

1日不足分の食物繊維が手軽にとれる「とろぷる食感」の寒天ゼリー飲料



新商品



新商品

2026年3月発売

● 「スポリカ」広島ドラゴンフライズ コラボデザイン



新商品

2026年
2月発売
数量限定



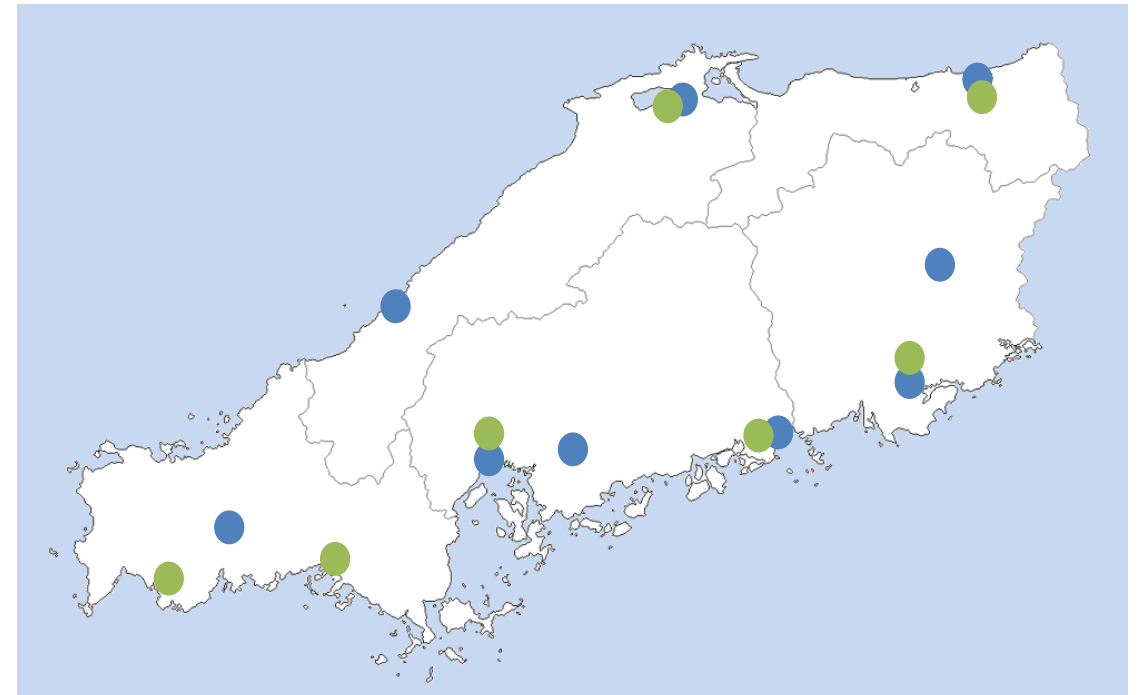
当社の連結子会社であるアシード(株)が、自販機運営事業を展開する(有)日東バンディング中国の発行済株式の全株式を取得し、2026年4月1日付で子会社化

(有)日東バンディング中国は、中国5県(広島県・岡山県・山口県・島根県・鳥取県)で自販機運営事業を展開しており、アシード(株)の営業エリアとも大部分が重複しています。各拠点の効率化と収益の底上げに資するため、当社グループの自販機運営リテイル事業の成長に寄与することが期待されます。

【拠点所在地】









●アシード(株)

●(有)日東バンディング中国



商号	アシードホールディングス株式会社
所在地	広島県福山市船町7番23号
設立	1972年11月20日
代表者	代表取締役社長 河本 大輔
資本金	7億9,847万円
発行済株式数	13,495,248株
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
証券コード	9959
連結子会社	10社(2026年4月1日現在)
持分法適用 関連会社	(ベトナム) HaLong Beer And Beverage Joint Stock Company VIHAMARK GROUP JOINT STOCK COMPANY
従業員数	742名(グループ) 2026年3月31日現在



			セグメント売上高 連結売上に占める率 (2026年3月期)
自販機運営 リテイル事業	 アシード(株) (子会社)株いいじま (子会社)有日東ベンディング中国	飲料・食品自動販売システムの運営・販売	13,892百万円 54.7%
飲料製造 事業	 アシードビバレッジプラス(株) (旧 アシードブルー(株))	各種ソフトドリンク(清涼飲料水)及び 酒類の企画開発・販売	11,086百万円 43.6%
	 アシードブルー(株) (旧 宝積飲料(株))	各種ソフトドリンク(清涼飲料水)及び 酒類の製造	
	 (株)河村農園	健康茶などの加工商品化・販売	
	 静岡ローストシステム(株)	茶葉の受託加工・製造・販売	
	 マルサン萩間茶(株)	茶の加工及び販売、オンラインストアの 経営	
不動産 運用事業	 アオンスエステート(株)	不動産の開発・運営・賃貸及び管理	142百万円 0.6%
その他事業	 ロジックイノベーション(株)	納品代行・納品前作業代行・輸送業務・ 海外輸出入業務	288百万円 1.1%

※不動産運用事業のセグメント売上高・率には、アシードホールディングス(株)等の実績も含む

本資料に記載されている、当社グループの業績予想は、将来の見通しに関する記述であり、これらは、現在入手可能な情報に基づく経営者の判断などを基礎としています。実際の業績は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、記載する見通しと異なる可能性がある事をご承知おきください。

また、当資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としており、当社株式の購入を勧誘するものではありません。投資の最終決定はご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本資料に関するお問い合わせ先

アシードホールディングス株式会社
経営企画グループ

T E L : 084-923-5552

E-mail : kikaku@aseed-hd.co.jp

U R L : <https://www.aseed-hd.co.jp/>